

として全町内会に職員を張りつけ、地域に入り込んで地域おこしを目指す考えは。

まちづくり組織として、協働参加型自治会組織の実現を目指しているが、編成を含めて進捗状況を伺う。

高薄町長

地域担当制については、今後、実行していかねばならないが、アンケート調査して、合意できたところから考えていく。

組織の再編は、実行に移せないのが現状であるが、「1町内会1輝き運動」を考え、町内会の意見を尊重しながら、地域担当制と併せて再度案を練り直し、実行に向けていきたい。

職員削減と行政執行能力の減退の関係

荒木篤司議員

町は、近い将来職員数を120人台まで削減すること

いつているが、どのような体制にすることによってできるのか、削減の根拠を伺う。

職員は仕事の幅が広くなり、兼務業務で浅い仕事しかできなくなると思うが、分権が押し進められている中で、結局被害を被るのは我々町民だ。それは、行政の執行能力減退だと映るが、本当に大丈夫か。

高薄町長

類似団体別職員数が人口1万人の場合は124名、部門ごとに修正すると148名くらいが妥当な人数になるが、更に削減しなければならぬために120名とした。勤務体制は係を行革で50以下に減らしているが、分散化しているものを集約すれば十分に仕事をしたいける。

職員にはがんばってやるように常に指導しているが、個人差はある。大事なものは素直な気持ちで住民の皆さんに接する姿勢を持つことで、住民との信

頼関係も構築されるのではないかと。

温泉の売却決定と売却先は

荒木篤司議員

温泉を最悪閉鎖するという方針を打ち出し、町民説明会を行ったところであるが、決定前に温泉利用者の声を聞くことになったのはなぜか。毎年赤字の経営だったとはいえず、利用者のお陰で赤字幅が縮小されていたことを忘れていたのではないかと。いずれにしても、今回売却の方向性を明確にして、

購入者を募っているのではないかと思うが、現状と今後のスケジュールを伺う。

高薄町長

温泉はやめるという前提ではなく、売却して継続を考え、どうしても買い手がつかない場合は廃止の方針だが、21か所を利用する方、利用しない方を含めて意見を聴いており、公平だと思っている。

今後は、不動産鑑定を行って予定価格を決め、全国公募して利用提案書を提出いただき、選定委員会候補者として選定された団体を登録し、平成20年4月に指名競争入札の予定。



売却に向けてスケジュールが示されたしみず温泉フロイデ

安心・安全なまちづくりは町長の公約であるが具体的に何か

荒木篤司議員

町長は、2期目の政策として安心安全なまちづくりを進めると公約された。あれから2年経過した今年の予算を見ても、具体的に盛り込まれたものが見えないが、掛け声だけで、何もしようとしていないのではないかと。

極めて幅の広いことであるが、教育委員会部局も含めて、特別に何を進めているのか例をあげて説明頂きたい。

高薄町長

例をあげるならば、国道と町道の交差点に回転灯を要所につけて危険を知らせようと取り組み、厳しい取り締まりや広報があつて、5月には交通死亡事故ゼロの日500日達成となった。大規模地震等に備えて食糧、毛布など限られた予算で備蓄を進めて

おり、AED設置も進めている。

横山教育長

学校施設は、災害時に地域の方の緊急避難場所としての役割を有するため、平成17・18年度に対象となる3校で耐震基本調査を行った。その結果を踏まえ、二次診断を本年度は御影中で、来年度は清水小・清水中で実施し、耐震改修が必要となった場合には工事を進めていく。

町として産業振興の理念を示す時では

橋本晃明議員

①地球温暖化やバイオ燃料転換が農業・畜産に与える影響をどうとらえているか。
②自給飼料の質と量の向上、耕畜連携、省エネルギー・循環型農業体系の確立など、農業・畜産は転換点にあるのではないかと。
③企業の農地保有やある